



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学免疫科学研究所集談会記録
Citation	北海道大学免疫科学研究所紀要, 35, 35-35
Issue Date	1975-03
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/26494">https://hdl.handle.net/2115/26494</a>
Type	departmental bulletin paper
File Information	35_P35.pdf



gordonae の形態学的鑑別の試み.

3. 大原 達・木村卓郎・佐々木孝之・清水正秀: 抗ハブテン抗体の産生及びその性状に及ぼす担体の種類, ならびに胸腺摘出の影響について.
4. 佐藤恒久: 新テトラゾリウム塩の合成.

第 207 回 (昭和 49 年 3 月 22 日)

高橋義夫教授退官記念特別講演

第 208 回 (昭和 49 年 5 月 23 日)

東 市郎 (阪大・医): 結核菌菌体成分のアジュバント作用

## 北海道大学免疫科学研究所集談会記録

第 1 回 (昭和 49 年 6 月 11 日)

菊地由生子: ラット発生癌による人工転移癌の治療の試みと自家癌一宿主間にみられる反応細胞の動態

- 文献: 1. Takeda, K. 他. Treatment of artificial metastases of methylcholanthrene-induced rat sarcomas by autoimmunization of autochthonous hosts. *Cancer Res.* **28**, 2149, (1968).
2. 石井良文他. 自家腫瘍拒絶における effector cell の解析. *日病誌*, **62**, 181, 1973.

柿沼光明: ウサギ免疫グロブリンの遺伝標識に関する最近の知見

第 2 回 (昭和 49 年 7 月 9 日)

内田孝宏 (札幌大・癌研): サルモネラ O 抗原の構造と抗原変換について

研究報告会 (昭和 49 年 9 月 10 日)

1. 関川 勲・高橋由美子: 免疫抑制剤の研究 Methylsulfinyl methyl heterocyclol ketone の合成.
2. 西江 純: Pyrido (2,3-C) pyrazolone の誘導体の合成について.
3. 高沢俊英・塩川洋之: クレアチンキナーゼの超遠心分析.
4. 坂井留女・塩川洋之: Azobenzene-*N*-acetyl-L-tyrosine (ABA-Tyr) 感作モルモットの抗原に対する *in vivo*, *in vitro* での応答.
5. 水野佑亮・黒野憲二・塩川洋之: 結核菌濾液蛋白質のリンパ系細胞に対する幼若化効果の検討.

(I) PPD の Mitogen としての性質

(II) 結核菌濾液から Mitogen を分画する試み.

6. 佐々木昭雄・立花キヨ・有馬 純: 薄層クロマトによる各種ミコバクテリアの燐脂質分析.
7. 有馬 純・高橋昭一郎: フリーゼエッチング法によるミコバクテリアの微細構造.
8. 奥山春枝: Behçet 眼及び皮膚発疹部の蛍光抗体法的使用.
9. 小野江和則: Sezary Syndrome.
10. 森川和雄: BCG cell wall のアレルギー病原性.
11. 柿沼光明: Azobenzene-*N*-acetyl-L-tyrosine (ABA-Tyr) に対するモルモットの遅延型アレルギーの発現に及ぼすアジュバントの影響.
12. 木村卓郎・清水正秀: 免疫応答における LPS の働きについて.
13. 佐々木孝之: hapten-carrier 系免疫応答について.
14. 小野寺昌彦: 抗 MANS 抗体の免疫経過による変化 (続き).
15. 山下慎子: マウスにおける Antigenic competition.
16. 奥山春枝: 家兎の抗体産生機構の解析. 感作領域リンパ節輸出管内細胞の PFC 産生促進効果の追及.
17. 久世彰彦: RFP による治療成績. 再排菌例の検討.

第 3 回 (昭和 49 年 10 月 8 日)

有馬 純: フェージによるストレプトマイシン耐性因子のミコバクテリアへの導入について

- 文献: W. D. Jones and H. L. David: *Tubercle*, **53**, 35, 1972. W. D. Jones, Jr., R. E. Beam and H. L. David: *ibid.*, **55**, 73, 1974.